

大町労山だより



VOL.1-NO12

2021 3/31

大町勤労者山の会

山行報告

西上州・小沢岳 (1089M) 2021/2/28

参加者 ツルちゃん・E I E I・広一
コースタイム 松川自宅 6:00⇒登山口 8:55⇒発 9:
10⇒柵峠 10:00⇒発 10:15⇒山頂
11:15⇒発 12:15 ⇒登山口 13:30

感想・・・ツルちゃん

西上州の山で、南牧村のマッターホルンと呼ばれている小沢岳はすっきりとしたとんがり帽子状の山容で下仁田の町からよく目立つ山でした。登山口から往復3時間で登ることができて展望は素晴らしく、八ヶ岳、浅間山、北アルプス、上越国境方面の白い雪山が望め、とてもいい山でした。

帰りに下仁田の町を見学。昭和レトロそのままの懐かしい街並みでした。上州のお酒1本をゲットして帰宅しました。

感想・・・広一

登山口から沢沿いに行く。荒れているが沢に沿って登る。頂上の眺めは絶景、お昼の煮込みラーメンも絶品でした。



西上州・立岩 (1265M) 20203/7

参加者 ツルちゃん・E I E I・じゅんちゃ・尾形+5
コースタイム
田淵記念館 6:00⇒登山口
9:15⇒発 9:30



山頂 11:30⇒発 12:30⇒登山口 14:30⇒☁・夕食
⇒19:00

感想・・・じゅんちゃ

荒船山の頂上である行塚山を目の前に見える立岩(1265m)。標高の割には一部岩稜帯で少々危険な登山道であった。初めて下仁田町を經由し南牧村(なんもくむら)



ら)に行ったが、深い谷に、へばりつくように人家があり限界集落の様相であった。



感想・・・尾形

群馬の立岩?初めて聞く山でどんな山かと思っていたら、西上州のドロミテと言われている岩場の多い山で、少しだけ本場のドロミテに似ている山でした。標高は1265mと低いが、杉林、ガレ場、岸壁のバンド、クサリ場、不動尊岩室等々変化に富んでいる山。信州にはない道中の風景、初めての山でもあり、旅行気分楽しい山行でした。

感想・・・EIEI

佐久の山仲間が計画してくれたので、2週連続の西上州行きとなる。今回の山はYUTUBEで事前にチェックしていたし、山仲間も下見をしてくれていたのですが、実際に登ってみるとスリル満点の山であった。

山頂迄1.8キロと短いに変化に富み、登りごたえあり。周回なので帰りはヤセ尾根を300m急下降する。落ち葉の下が凍っていて細心の注意を払いながら下る。そしてまた、クサリの小山を越える。沢は崩落していてロープを伝いながら渡る。杉林の中から、突如、柱状節

理の岩壁が現れ、威怒牟巖（いぬむき）不動尊と読み朽ちた岩屋に祀られていた。

無事下山してP近くの線ヶ滝を見学する。ここ、星尾の集落は下仁田の中心地から40分位山奥に位置するが、人家は多くあり、立派なお寺もある。かつては繁栄していただろうが今は廃屋が目立つ。南牧村は限界集落全国1位とか。うなずける！！ノスタルジーな世界を眺めながら山と旅を楽しんだ一日でした。

乗鞍高原スノーシュー&善五郎滝アイスクライミング 2021/3/11

参加者 クライミング 秀さん・五十畑・白馬の山人・文子・聡子
スノーシュー 谷口・いくババ・根橋・順子



山行報告（感想など）・・・聡子

ずっと家に籠もっていたので年明け初の山活動。会の皆さんに会うのも久しぶりで楽しみでした。

乗鞍高原の駐車場で準備を済ませ、善五郎の滝に向かっている途中でザーザー音を立てて流れ落ちている滝が見え、アイスクライミング出来るかな！？と心配になりました。滝の前まで行ってみると凍っている場所があり、なんとか出来そう。4人パーティーの先客がいて、左の大きい滝と右の小さい滝の両方にロープを張っていましたが、右の滝を譲ってくれました。

秀さんといそはたさんが、右の滝に2本ロープをセットしてくれ10:30頃から登攀開始。一回目は手も足も効いていなかたのか、登り始めてすぐに数メートル落ちてしまいました。5人で2本のロープだったので去年と違い何回も繰り返し登ることが出来ました。その都度先生方がアドバイスしてくれますが、脳の指令がうまく体に伝わらず！？・・・なかなか上手にできません。それでも去年より恐怖感が少なかったので、慣れる事の大切さを感じました。登っている人の確保の練習も何回もしました。秀さんに丁寧にコツを教えてくださいますが、こちらもなかなか上手く出来ません。登攀も確保も何度も繰り返し練習して体に覚え

させる必要を感じました。

先にいたパーティーが帰った後に左の大きい方の滝にロープセットし、秀さんといそはたさんが1回ずつ登りました。垂直に近い、長い長い滝を登って行く姿が格好良かったです。山の斜面にカモシカがいました。私は初めて見たので嬉しかったです。次はもっと近くで見たい。撤収の少し前に滝に向かって右側の斜面で落石がありました。雪が緩んできている時期は注意が必要だと思いました。

感想・・・根橋

澄み切った青い空に真っ白でどっしりとした乗鞍岳。初めての冬の乗鞍高原にワクワクしたがスノーシューは数年前の白馬岩岳へ行ったのが初めて。今回は二度目の高齢初心者なので不安感も。まず声を大にそのことを皆さんに伝えて三本滝を目指す。

途中の案内板は雪に埋もれている。ワイヤーまである吊り橋の積雪にはびっくり。下を流れる水は見ないように足元のみ集中して進むと滝が目の前に。青みがかった巨大な氷の滝は素晴らしい。来てよかったと思う。しかし帰りは大変。2メートルもない下りが降りられない。片側の下は川、滑ると落ちてしまうと思うと焦る。事故というのは、こうして起こるのだと一瞬頭をかすめたが、滑らないように、落ちないようにと必死で先輩方のアドバイスにすがりついて何とか降りた。

先輩方の技術力のすごさに改めて感動。その後気を取り直してそこそこ元気に歩く。その後も数か所苦手な怖いところがあったがスノーシューを楽しんだ。今回は本当に無事で良かったと思う。脚力を鍛えるとともに場面ごとに自分の力を見極めてこれからも楽しい山行をしたいと思う。

第2回 善光寺街道を歩く（会田宿～青柳宿）

3. 14

参加者 じゅんちゃ・ツルちゃん・EIEI・尾形+1

報告・・・じゅんちゃ

第1回は稲倉峠いなぐらを越え松本市四賀支所までの間を歩き終わったので、今回は会田宿を通過し立峠たちとうげを越え青柳宿まで歩く計画をした。

まず筑北村役場に車を回送してから風越峠を越え松本市四賀支所へ。前日は雨で心配したが天気も好天、会田宿を見学しながら坂道を登



ると各家に屋号の看板が掲げてあり、往時の賑やかさを感じる。街道筋には北國西街道の両側に建つ善光寺常夜燈、松澤家長屋門を見学し岩井堂に向かう。岩井堂の上部は奇岩が点在し四賀が一望できる。岩井堂の裏山からは年間7000トンの石



と各家に屋号の看板が掲げてあり、往時の賑やかさを感じる。街道筋には北國西街道の両側に建つ善光寺常夜燈、松澤家長屋門を見学し岩井堂に向かう。岩井堂の上部は奇岩が点在し四賀が一望できる。岩井堂の裏山からは年間7000トンの石

炭が索道で西条の駅まで明治末まで運ばれていた。また端正な形をしている虚空蔵山も望む事ができる。

何度か立峠に登っているのだが入口がわからなく不安で舗装道路を歩いていると先行していたツルちゃんが「登り口があった」と知らせてくれて一同ホッとすする。

立峠までは、さほど時間が掛からず到着。ここにはかつて四軒の茶屋があり前回越えてきた稲倉峠と猿ヶ馬場峠がほぼ一直線上に見渡せる。

峠は風が強いので少し下り、ここで棒ラーメンと現地で餃子を包み焼いて昼食を摂ることにする。美味しくて全てお腹の中に納まる。峠から一時栄えた乱橋集落へ石畳を進む。ここはかつて宿屋や茶屋があり、繁盛したが現在は空き家が目立つ。

乱橋から中峠を越え国道に出て筑北村役場に到着し、車で坂北駅に向かう。駅の駐車場に車を置き青柳宿を見学しながら大切通しに向かう。峠は青柳城主青柳頼長により一丈、江戸前・中・後期に三尺ずつ切り下げ、四回で6mほど低くなり長さ27mに及ぶ。最下部の荒々しい壁面は昭和三十年頃に車道にするため、削岩機で削った痕跡を見ることができる。

見学後坂北駅に戻り、風越峠を越え四賀支所に帰還、東山館で汗を流し心地良い疲労の中、家路を急いだ。第三回は切り通しから麻績宿を見学しながら猿ヶ馬場峠まで目指す事にする。

唐松岳 2021/3/17.18

参加者 秀さん・聡子+1

コースタイム

1日目 八方池山荘到着(14:30)

2日目 出発(6:45)～八方池(7:30)～丸山(8:55-9:15)～唐松岳(10:45)～頂上山荘横で休憩(11:10-11:50)～

丸山(12:25)～八方池山荘(13:50)

山行報告(感想など)・・・聡子

1日目は午後自宅を出発してリフトを乗り継ぎ八方池山荘まで。麓から眺めた山はどんより曇り。上へ行くと濃いガスで数メートル先のリフト乗り場が見えないほどだった。

山荘に着いてまずは祝杯。しばらくするとガスが取れて山が見えるようになった。秀さんの提案で外に出て雪崩対策の弱層テストのやり方を教わった。実際にやってみると雪を掘る大変さも分かり勉強になった。山荘は部屋に暖房が付いていて暖かかった。



2日目は快晴の中スタート。寒くなく、前日の夜中は風の音で目が覚めるほどだったが八方池山荘近くはほぼ無風。

八方池の手前から風が強くなりニット帽が飛ばされてしまった。雪面はしまっていてアイゼンがよく効いた。丸山からは3人ロープで繋がって歩く。順調なペースで予定より早く山頂へ。360度ぐるり景色が楽しめ、良き日に登れた事に感謝。

風を避け頂上山荘横で休憩し、繋がっていたロープを外してから下山開始。時折突風が吹き、立ち止まって風に耐えたが秀さんはよろけもせずスタスタ歩いていた。流石だ。

途中の斜面で弱層テストのおさらいをし、景色を楽しみながら八方池山荘まで戻った。



お知らせ・・・4月11日はAM 9:00から大町労山の総会です！！

コロナ対策をして、全員出席しましょう。（委任状はありません）

当面の県連行事

- 4/3 北信越交流山行実行委員会（リモート）
- 4/10 理事会（松本）
- 4/18 雪上訓練（五竜）
- 5/15～16 自然保護講座（要項は右）
大町労山の参加形態は相談します。
- 5/23 クライミング講習会（大町人工岩場）
- 5/30 県連交流山行：鍬の峰

白馬の山人の家の庭にもようやく春の訪れ。フクジュソウが咲いています。フキノトウは、まだです。



テーマ：北アルプスの自然と人との関わり合いについて

学習項目：

- ・北アルプスにおける日本ジカの実態と個体の確認
- ・巨大ダム（高瀬ダム）による山岳自然への影響
- ・北アルプスにおける身近な火山活動
- ・山菜等、人と山との関わり

15日の朝6時半頃「七倉山荘前」集合、タクシー一分乗で高瀬ダム天端まで。

ダム天端から徒歩で湯俣温泉まで。現地の「噴湯丘」などの見学。幕営準備、入浴後に交流会（各会または個人でテント、食料を用意してください）。

16日は往路を戻りダム天端からタクシー一分乗で七倉山荘前まで。山荘前で解散（15時頃を予定）。